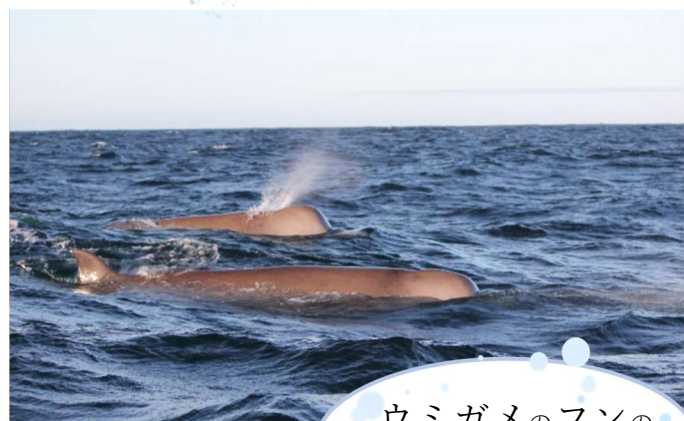
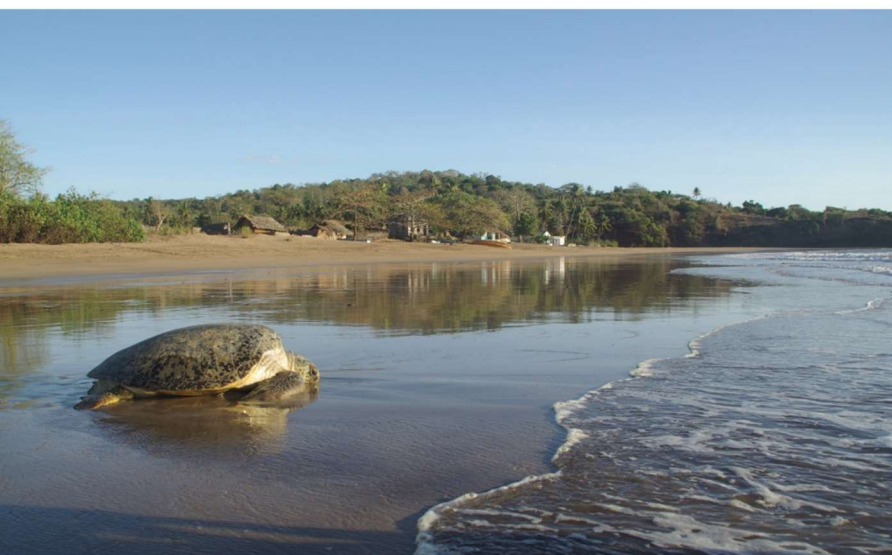




生きものたちの**行動**は
わたしたちにたくさんのことを教えてくれる。



自然の調査員、
ウミガメや**クジラ**たちに
海の環境を教えてもらおう！



ウミガメのフンの
観察もできるよ！

藤前干潟サイエンスカフェ 動物目線で探る**海**の環境

日 時 **2022 年 2 月 26 日 (土)**

13:30~15:00 (開場: 13:15)

会 場 **名古屋市環境学習センター エコパルなごや(伏見ライフプラザ13階)**
伏見駅 6 番出口より徒歩 7 分

講 師 **ならざき ともこ 榎崎 友子** 氏(名城大学農学部生物環境科学科 助教)

参加費 無料

対 象 どなたでも 先着 50 名

主 催 藤前干潟ふれあい事業実行委員会



申 込 1 月 12 日 (水) より受付開始

電話、メール、FAX にて下記の①～③をお伝えください。

① 参加者氏名 ② 日中連絡の取れる電話番号 ③ メールアドレス

申込先 藤前干潟ふれあい事業実行委員会事務局

〒460-0008 名古屋市中区栄 1-23-13 伏見ライフプラザ 13 階

TEL: 052-223-1067 FAX: 052-223-4199 Eメール: ecopal@n-kd.jp

instructor

講師： **ならざき ともこ** 氏

名城大学農学部生物環境科学科 助教。

1979 年生まれ。

ニューサウスウェールズ大学（オーストラリア）理学部卒業。

東京大学大学院新領域創成科学研究科博士課程修了、博士（環境学）。

日本学術振興会特別研究員などを経て、2021 年 4 月より現職。

三陸沿岸域や小笠原、北極海など国内外の様々なフィールドでウミガメ類や鯨類を対象としたバイオリギング研究を実施している。



message

藤前干潟サイエンスカフェ に寄せて

大海原を大回遊しながら成長するウミガメ、何度も深い海に潜って餌を食べるクジラ。追いかけて観察することが難しい彼らの未知なる生態や行動を探るため、「バイオリギング」という動物装着型記録計を使った研究が発展してきました。また最近では、私たち人間がアクセスしにくい場所の環境観測の手段としても大きく注目されています。

本講演では海洋動物の行動研究の成果を動物目線の映像を交えながらご紹介するとともに、バイオリギングによる環境観測の最新の研究についてお話ししたいと思います。

Key word

バイオリギング Bio-logging とは？

バイオ（生きもの）＋ ロギング（記録をとる）

動物の行動を動物自身に

記録してもらおう！



藤前干潟は 2022 年 11 月 18 日でラムサール条約登録 20 周年！

藤前干潟ふれあい事業では、YouTube やウェブサイトで藤前干潟のイベントやさまざまな情報、コンテンツをアップしています。

ぜひチェックしてみてね♪



YouTube
はこちら！



ウェブサイト
はこちら！